

Q&A

多発性骨髄腫患者に発生した下痢，腹痛

【問 題】

症例：40 歳代，女性。

主訴：腹痛。

現病歴：多発性骨髄腫に対して化学療法後に，自家末梢血幹細胞移植の目的で入院した。移植 5 日後から下痢と右下腹部痛，6 日後から発熱を認め，CT で小腸に浮腫状変化や腸液貯留，上行結腸に広範な浮腫を認め，大腸内視鏡検査を施行した。

既往歴：リンパ球性下垂体炎，肺内壊死性肉芽腫。

生活歴：喫煙 なし，飲酒 ビール 700ml/日。

家族歴：特記事項なし。

アレルギー：なし。

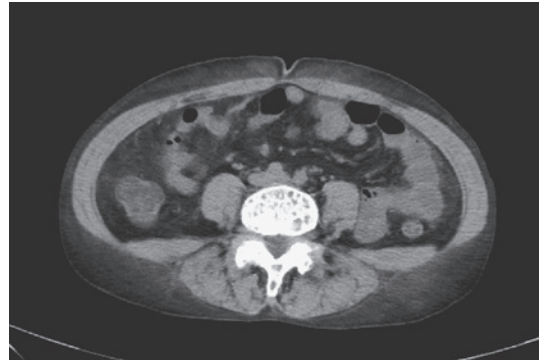


Figure 1. 腹部単純 CT.

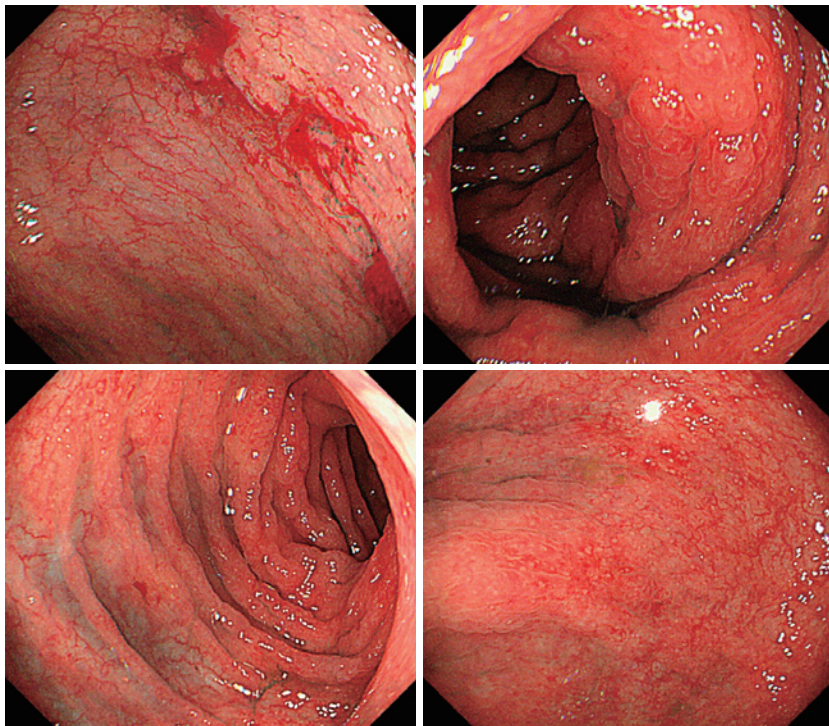


Figure 2. 大腸内視鏡像（左上：盲腸，右上：上行結腸，左下：肝彎曲部，右下：横行結腸）。

血液検査所見：WBC 2000/ μ l, RBC 289×10^4 / μ l, Hb 8.5g/dl, Plt 4.0×10^4 / μ l, TP 5.9g/dl, Alb 2.5g/dl, AST 31IU/L, ALT 39IU/L, LDH 296IU/L, γ -GT 41IU/L, BUN 19mg/dl, Cre 0.63mg/dl, Na 134mEq/L, K 4.0mEq/L, Cl 104mEq/L,

CRP 0.63mg/dl.

腹部CTと大腸内視鏡像を示す (Figure 1, 2).

経過と画像所見から考えられる疾患は何か？